

2019年度 修士論文

「不満表明」の発話行為に関する研究
—日越母語場面及び日越接触場面を対象として—

指導教員 加藤好崇 先生

東海大学大学院文学部研究科
日本文学専攻日本語教育コース

7BLJM001

ズオン クインガー

2019 年度 修士論文

【指導教員名】

加藤 好崇 先生

【論文命題】

「不満表明」の発話行為に関する研究
— 日越母語場面及び日越接触場面を対象として —

【学生証番号】

7BLJM001

【氏名】

ズオン クインガー

「不満表明」の発話行為に関する研究

—日越母語場面及び日越接触場面を対象として—

目次

第1章	はじめに	3
1.1	研究の背景	3
1.2	本研究の目的	5
第2章	先行研究	7
2.1	不満表明ストラテジーに関する先行研究	7
2.2	ポライトネス理論に関する研究	13
2.3	接触場面に関する談話管理理論の研究	16
第3章	研究の枠組み	18
3.1	本研究の不満表明ストラテジー	18
3.2	言語管理理論の管理プロセス	21
第4章	研究方法	24
4.1	調査方法	24
4.2	ロールプレイの対象者	24
4.3	ロールプレイの状況を設定	27
4.4	ロールプレイ後に行うフォローアップ・インタビュー	28
第5章	調査結果と分析	30
5.1	不満表明ストラテジー使用傾向	30
5.1.1	日本語母語場面における不満表明ストラテジーの使用傾向	33
5.1.2	ベトナム語母語場面における不満表明ストラテジーの使用傾向	33
5.1.3	日越接触場面における不満表明ストラテジーの使用傾向	34

5.1.4	まとめ	34
5.2	連鎖型とバリエーション度	35
5.3	ロールプレイとフォローアップインタビューの分析結果と考察	38
第6章	終わりに	49
6.1	まとめと日本語教育への応用	49
6.2	今後の問題	51
付録		53
付録1	日本語版	53
付録2	ベトナム語版	55
参考文献		58
謝辞		60